
今頃流行りの二年電波組。

笑石

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

今頃流行りの二年電波組。

【Nコード】

N2073J

【作者名】

笑石

【あらすじ】

ナンセンス的バカコメディー、しいて言うなら電波による電波の為の電波なお話。いやむしろ電波を愚弄しているかも知れない。……ちなみに『最近流行りの二年電波組』と言う作品の続編です、そちらを先に読んだ方が話に入り込みやすいかと。

(前書き)

最近 は異世界ファンタジーを執筆してまして、その合間に休憩が
てら書きました。

私が通う高校は琴海高校、そこら辺に腐る程存在する極普通な学校……とは、言い難い理由がある。

その理由が、二年D組。

他のクラスは数字で分けられているのに（例、二年一組）何故か四組に当たるクラスがアルファベット表記。

この“D”は電波の“D”、そうこのクラスに在籍する彼・彼女らは電波な奴らなのだ。

一例として

「俺、実は宇宙人なんだよね」という、自己紹介や

「私さ、空を飛ぶならやっぱり大気圏を突き抜ける勢いでスペクトルな情報をやり取りしないといけないんじゃないかと常日頃から思っていたの」という、もはや解読不能な独り言などが上げられる。

他には、D組の一部男子生徒から意味不明に崇拜されている“アルマニカ聖子”は一日に何回も会話に出る様だし、教員からの脳波を受け取って（本当かどうかは知るよしもないが）試験対策を練っていたりとか

まあ、説明が非常に難しいがそんな感じのクラスがある。

ちなみに、私の幼なじみが言うには“宇宙人”は地球にまだ降り

てきてないし、空を飛ぶには……えーと何たら星雲からくる信号を、なんかよく分からんけど“宇宙的かつ鋭角的な”角度で受信して……めんどいから説明終わり。

あと、アルマニカ聖子？は実は日本政府が“駄目電波受信系男子”（もはや新属性開拓だよ）を監視する為に作った“偽物の電波”らしい。

それとまたまたよく分からんが教員から漏れる電波を子供が受け取るには“超拡張的アンテナ”とかいう本当に意味が分かんない道具を頭に付けないといけないらしい。

まあ、ぶっちゃけ今説明してる私も理解出来ないし、誰が聞いても滅茶苦茶なこの内容を理解出来ないでしょう。

じゃあ書くなって……？

あ、そんでもって、私こと恭子はたった今幼なじみと学校へ登校中なのよ。

先程からの流れでもう分かってるだろうけど、私の幼なじみも“意味不明かつ理解不能”な電波さんなわけで。

私は“コト”って呼んでんですが、その子ったら今私の隣を歩いてるんだけど、ずっと

「ビームビーム」

とか言っちゃってんですよ、口尖らせて指で鉄砲作ってなんかそこら辺にその指先向けて。

マジ意味分かんないですよ。

ええ、コトと何年も一緒にいるこの私が意味不明なんですからもちろん皆さんも意味不明ですよ？

通りすがりの人とか思いつき距離取りましたよ今。

そりゃあ取りますよ、はい。私だって離れたいですよ。だって“ビーム”撃たれますもん。

「恭子、恭子っ。どうしよう……“圏外”だ」

いやね、そんな深刻そうな顔で言われましてもね……“知らねえよ”と、ただそう思うだけなんですよコトさんや。
ってわけで、

「ちよつとこのアンテナにしたら“電波強度”弱くなったな、それか角度おかしいのかな？」

あなたの頭に付いてる“超拡張的アンテナ”とか言うカチューシヤに二本の“触角”が付いた“意味不明”アイテムを目の前でいじられても私には“へえ、そうなんだ”ぐらいしか言えないんですよ。それとも何ですか、突っ込んで欲しいんですか？突っ込みましようか？

おかしいのはあなたの頭です、外側でなく、内側です。……とても言えば満足ですか？満足しませんよね。

何年幼なじみもとい腐れ縁を続けてると？むしろ

メイド・イン“NASA”の方が良かったんじゃない？

みたいな事を言った方が大人しくなりますもんね。知ってますよ私は。

なんか私がペラペラ喋ってばかりですね、少しコトの台詞を挟みますか。

「ビーム……？ 私いつから“超電波的砲”を使える様になっていたんだ……！」

やめて下さい。分かる人は分かっちゃいます。なんか色々ヤバイです。ちなみあなたが出しているらしいビームとやらは不可視なんですか？ あなたは何者ですか？

D組の生徒でしたね。はい。それはもう、全校生徒が“んなつ……変質者が学校に！……なんだD組か”なんて言っちゃう様なクラスの一員でしたね。

むしろ、四天王とか呼ばれてますよね。

「恭子よ、さっきから何をブツブツと？ なんか“怖いぞ”」

黙りなさい。

あなたに言われたらなんかもう“戻れない”人みたいじゃないですか。

ほら見て下さい、校門まで来てしまったせいで今の会話聞かれちゃいましたよ、しかもネクタイの色からして同じ二年ですよ。

“あの『四天王コト』に怖いと言わせた女……なんて奴だ！ 超ニヒルな電波じゃねえか”なんて言われちゃいましたよチクシヨー。つか貴様D組だろこの野郎。

「恭子、ではまた用があれば“宇宙的510ヘルツ”に“チャンネル”を合わせて連絡を」

私のクラスに着いたからコトはそんな感じに去っていったが

なんだよ宇宙的って、チャンネルって何だよこの小娘。

無線か？ 無線なのか？ あなたはその頭についた“触角”で“何かアレなの”を飛ばせるかも知れないけど、私の頭には角が付いてな

いんですけど。

結局、昼飯は私がコトを呼ぶためにD組まで行かなきゃいけないんですか？

まあ、いつもの事だけど、ちゃんと携帯にも出てくれませんか？親以外に私しか入ってないんだから、私からの電話くらい出ればどうですか？てか親からかかってきたのも出ませんよね、てか学校に持ってきてるのですか？

休日はいつかけても出るくせに、何で学校で出ませんか？

てか休日に遊んでも、あなたいつも“変な儀式”始めますよね。更には何でいつもその儀式に私まで巻き込むんですか？私に角はありません。

つか今席に座って携帯見たら新着メール一件で、しかもコトから内容が“ふと思いついたんだが、今日は北東からの電波が強いので家に泊まってよ”とか意味分かんないよ本気で。

つか携帯持って来てんじゃねえか、たった今受信したばかりだよ、とりあえず“分かった、でも一回家に帰るから”って返したよ、んで速効で返ってきたのが“ビームって何だろう”って知るかよ電波。

むしろこっちが“ビーム”ってなんだよって聞きたいよ。

“今日はお泊まりかー”とかほくそ笑んでたら気付いたよチクシヨ、良く考えたら何だかんだでいつもコトと一緒に居るじゃないか。

周りに“超電波的な奴”の“超親友的な奴”って思われちゃってるよ。

まあ、別に嫌ってわけじゃないけどなっ。

（後書き）

読んだ方には分かったと思いますが、作者の頭はおかしいです。

あと出来れば、感想下さい。喜びます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連^{たんのう}横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2073j/>

今頃流行りの二年電波組。

2010年10月16日09時32分発行